

地域連携センターニュース

vol.1

2014年10月刊

平成 26 年度より地域の方々との連携をより強化するため「地域連携センター」がスタートしました。「地域連携センターニュース vol.1」では上半期の活動を中心にご紹介します。今後も皆様のお役に立てる活動を行って参ります。

Topic1

鶴岡高専地域連携センタースタート

本校における「地域と高専とのパイプ役」を担っていた地域共同テクノセンターは、地域に対する協力を更に組織的に進めるために、2つの部門（地域連携部門及び人材育成部門）を有する「地域連携センター」に名称を変えスタートしました。本校の人的・物的資源を地域へ提供し、地域の発展に役立つこと、さらに、地域から寄せられる多様な支援を本校の教育・研究に役立てること、その目的を担うのが当センターです。

地域連携センター長あいさつ



地域連携
センター長
神田 和也

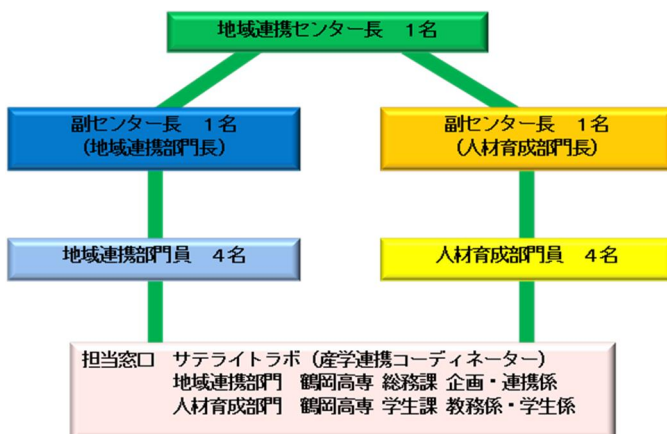
地域に対する協力を組織的に行うために、平成 6 年 11 月に地域共同テクノセンターが設置されました。平成 24 年 4 月には、分室として、地域共同テクノセンターサテライトラボを鶴岡メタロームキャンパス内に設置し、同時に、産学連携コーディネーターと事務補佐員が常駐し、地域密着型 CO-OP 教育を開始しました。

平成 26 年 4 月より、地域の連携強化、拠点構築を目指し「地域連携センター」としてスタートしました。初代・地域連携センター長を務めさせて頂いております。

本センターの目的は、「本校において蓄積した技術開発及び研究成果をベースに、地域企業との技術及び研究交流を推進して地域社会の発展に寄与するとともに、本校の教育研究の充実発展に資すること」となっています。すなわち、「地域社会・地域企業等と高専とのパイプ役」となることです。そのためには、鶴岡高専の現在のシーズを地域の皆さんに知っていただくこと、地域のニーズを鶴岡高専の研究者・技術者が理解すること、この相互理解が地域連携の基礎であると思っております。そのためにも、鶴岡高専から地域への技術情報の発信を多くしていきたいと思っております。

地域からは鶴岡高専にお立ち寄りいただける環境作りを進めてまいりたいと思います。

また、地域の方々と共に科学技術教育、キャリア&CO-OP 教育を通して、地域発展に寄与できる人材育成・輩出にも努めてまいります。



運営組織図

地域連携センターでは、センターの主な活動をご紹介するパンフレットを作成しました。地域連携センターの活動内容、及び設備の紹介等が掲載されています。また、今後、地域連携センターをより知っていただけるよう鶴岡高専技術振興会とともに様々な刊行物を発行する予定ですので、ぜひご覧ください。



市民サロンとは、鶴岡高専技術振興会と本校が共催で開催し、本校と地域内研究機関等の研究者・技術者を講師に、各専門分野の最新情報をわかりやすく提供する市民講座です。

【第1講】もったいないエネルギー！～上手に選ぶ・使う～ 8月1日（金）開催

○やまがた自然エネルギー株式会社 代表取締役 山田 幸司 氏

「やまがたの自然を活用！

ひと・地域が取り組む再生可能エネルギーのすがた」

海外と日本、そして庄内での再生可能エネルギーの取組みを比較しながらご紹介いただき、身近なところでも多くの取組みがあることやこれから必要なことについてご講演いただきました。



○国立高専機構 鶴岡高専 物質工学科 助教 伊藤 滋啓 氏

「機能性セラミックスが持つ、次世代エネルギー材料としての可能性」

燃料電池の仕組みやセラミックスの性質をわかりやすく説明し、セラミックスの性質の「欠陥」をどのように燃料電池等に用いると新たなエネルギー材料として利用できるか、その仕組みをご紹介します。



【第2講】みんなで目指そう！安心・安全、健康大国つるおか 9月25日（木）開催

○健康寿命を延ばすために 山形県庄内保健所 所長 松田 徹 氏

「健康寿命を延ばすために」

禁煙、栄養管理、運動、検診、住宅環境等、様々な角度から健康寿命を延ばすための方法、そしてそれを維持する大切さを統計を交えてご説明いただきました。



○国立高専機構 鶴岡高専 制御情報工学科 助教 金 帝演 氏

「電動車いすの安全運転支援とナビゲーションについて」

電動車いすがなぜ必要なのか、どのように活用されているのか等、現在の電動車いすの種類・現状を例を挙げてご説明しました。また、これからの電動車いすについても動画や金助教の研究内容を交えてご紹介しました。



お知らせ

市民サロン第3講を開催します！

下記のとおり市民サロン第3講を開催いたします。ぜひご参加ください！！

日 程 : 10月20日（月）18:30～20:30

場 所 : 庄内産業振興センター 第2研修室（鶴岡駅前マリカ東館3階）

テーマ : 『再発見！庄内の食文化』

講 演 : 学校法人 東北公益文科大学 特任講師 皆川 治 氏

「Uターンで見えてきた庄内の食・農業・農村の魅力」

国立高専機構 鶴岡高専 総合科学科 准教授 斎藤 菜摘 氏

「食と暮らしを支える微生物 ～小さな小さなものづくり工場～」

CO-OP教育を行いました

7月28日から8月31日までの夏季休業中の約2週間、本校学生10名（本科3年生8名、本科4年生2名）が地元企業6社においてCO-OP教育を実施しました。

【H26年度夏季CO-OP教育参加企業及び学生一覧】

企業名	所在地	本科3年	本科4年
ティービーアール(株)	鶴岡市	物質工学科1名	
(株)高砂電子機器製作所	鶴岡市	電気電子工学科1名	
オリエンタルモーター(株)鶴岡事業所	鶴岡市	電気電子工学科1名 制御情報工学科2名	
(株)アライドテック	酒田市	機械工学科1名	機械工学科1名 電気電子工学科1名
(株)佐藤鉄工所酒田事業所	酒田市	機械工学科1名	
(株)山形共和電業	東根市	電気電子工学科1名	

学生達はそれぞれの企業で、CADを使用した製図、特性測定、SolidWorksによる3Dモデル作成、4S（整理・整頓・清潔・清掃）の実施など実践的な業務に従事しました。

実際の現場で就業をした学生達からは、今後の抱負として、「自分の学科にとらわれず様々な知識を身に付けていきたい」「コミュニケーション能力の大切さを実感したので、より向上させていきたい」等の意見が出され、学生達にとって、学校生活だけでは得られない将来に向けての貴重な経験となりました。



企業訪問研修を実施します

企業訪問研修とは、本校卒業生が企業技術者として活躍している地元企業を訪問し、現役企業技術者と懇談する機会を設け、実社会での企業人としての心構えなどを研修させる取り組みであり、鶴岡高専技術振興会と共催しております。

本年度第一回目として、9月30日（火）に本校臨時休業日を利用し、酒田市内企業3社（大阪有機化学工業(株)酒田工場、東北東ソー化学(株)、東北エプソン(株)）を訪問しました。

10月以降、引き続き多くの企業への訪問研修を計画しておりますので、研修の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。



実施予定	イベント内容	
10月18日(土) 10:00~16:00 10月19日(日) 10:00~15:00	つるおか大産業まつり 2014 18日「ロボットアームで捕獲せよ」 「電気の仕組み ～自分で電気を起こして知ろう・考えよう～」 19日「お手軽、紙とペンを使った電子工作」 「暗闇で光るストラップ作り」 両日「3Dプリンタではどんなものができるかな？」	場所：鶴岡市朝暁武道館 【無料】 (機械工学科・田中研究室) (制御情報工学科・安田研究室) (電気電子工学科・佐藤淳研究室) (物質工学科・瀬川研究室) (教育研究技術支援センター)
10月20日(月) 18:30~20:30	市民サロン 2014 第3講 「再発見！庄内の食文化」	場所：庄内産業振興センター マリカ東館 3階【無料】
12月5日(金) 18:30~20:00	第40回産業技術フォーラム	場所：酒田勤労者福祉センター 【無料】
1月23日(金) 18:30~20:00	第41回産業技術フォーラム	場所：庄内産業振興センター マリカ東館 3階【無料】
3月上旬	第5回 鶴岡高専産学連携研究発表会	場所：庄内産業振興センター マリカ東館 3階【無料】

お知らせ

◆本校は来年度より学科改組いたします。

本校では、文部科学省から学科再編計画が了承され、平成27年4月から既存の4学科を改組し創造工学科を設置することになりました。

創造工学科は、1年次にはコースを特定せず入学します。2・3年次はコース制を導入し、機械、電気・電子、情報、化学・生物の4コースを選択します。4・5年次ではさらに7つの応用分野から選択して研究活動を実施することになります。詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2014/08/20140806.pdf>

◆出前講座・技術相談 受付中！

本校教職員が出向き、講座を行う「出前講座」、及び学外組織や機関（企業等）から、研究・技術開発上の相談に応じ、情報提供等を行う「技術相談」を随時受け付けております。

出前講座 【受付窓口】鶴岡高専技術振興会事務局（(公財)庄内地域産業振興センター内）

TEL：0235-23-2200（平日 8:45~17:45）

HP・問合せフォーム <http://www.shonai-sansin.or.jp/tsuruokakousen/213/>

技術相談 【受付窓口】鶴岡工業高等専門学校 総務課 企画・連携係（産学連携コーディネータ）

Mail：techno@tsuruoka-nct.ac.jp（24時間） TEL：0235-25-9453（平日 8:30~17:00）

HP・お問合せフォーム

<http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/renkei/chiiki/kenkyu-gijyutu/gijutu/>

編集・発行

■鶴岡高専地域連携センター

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田 104 Tel：0235(25)9453 E-mail：techno@tsuruoka-nct.ac.jp

■鶴岡高専技術振興会（(公財)庄内地域産業振興センター 内）

〒997-0015 鶴岡市末広町 3 番 1 号 Tel：0235(23)2200 E-mail：info@shonai-sansin.or.jp